



外国出張報告書

平成 28 年 2 月 22 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 28 年 2 月
3. 出張目的 ラオス農山村におけるチーク人工林の立地環境現地調査：C
4. 成果の概要 ラオス農山村におけるチーク人工林ならびに農家林の立地環境の現地調査として、ラオス中部ビエンチャン県南部の概査を行った。チーク人工林は、集落やその周辺では民家の庭先や放牧地の境界など低位段丘面上の平坦地において小規模に植栽されていることが多く、集落近辺の高位段丘面や丘陵地の緩斜面、および山間部の幹線道路沿いでは、中規模に植栽されていた。斜面上の中規模植林地では土壌浸食が発生していた。チーク植栽地の土壌は赤黄色で粘土質のものが多く、砂質なものや有機物に富むものもみられ、多様な立地環境においてチークが植栽されている実態が明らかになった。